推薦 機関	氏名(年齢)	住所	職歴等	表 彰 歴	功  績  概  要
総務省	とみた ふみ ひこ 富田 二三彦 (61歳)	東京都	独立行政法人 情報通信研究機構 理事	·情報通信技術賞 TTC会長表彰 H26	【宇宙天気予報の研究開発】 磁気嵐、電離圏じょう乱等の宇宙環境が無線通信、航空業界、宇宙利用等に与える影響が増大することを早くから見越し、その予測に関する研究開発に世界に先駆けて着手されました。特に「宇宙天気予報」という、一般になじみやすい言葉を生み出すことによって電離圏、宇宙環境じょう乱予報の必要性を世の中に広くに訴えたほか、宇宙放射線予報など、世界で初めての予測結果の数値的指標の開発等に先導的に取り組まれました。 「宇宙天気予報」は、我が国が諸外国の機関に対して10年以上先行して着手する極めて先進的な取り組みとなり、各国と連携しつつ、今日もなお世界的なリードを保っています。
	かんだ まさひ <b>に</b> 神田 昌彦 (74歳)	三重県	(元)名古屋郵便集中局長	·郵政大臣表彰 (業務優績) H12 他2件	【事業業績】 昭和34年5月三重県三瀬谷郵便局に採用され、平成12年7月、名古屋郵便集中局長を最後に退官されるまで41年有余の長きにわたり始終至誠を尽くして職務に精励され、郵政事業の発展に多大な貢献をされました。 羽島郵便局長として在任中には警察署及び市役所と連携を図り、外務職員による道路損傷等の確認と自治体への情報提供を積極的に推進される等、部下職員の事故防止のみならず地域の交通安全向上等に尽力されました。 また平成10年6月からは、名古屋郵便集中局長として、高性能な郵便物処理システムを扱う職員の技能向上に注力され、同局の業務推進体制等の基盤づくりに多大の貢献をされました。
日本郵	吉野 進 (69歳)	富山県	(元)金沢中央郵便局長	·総務大臣表彰 (事業優績) H17 他2件	【事業業績】 昭和39年3月富山県福野郵便局に採用され、平成18年3月、金沢中央郵便局長を最後に退官されるまで42年有余の長きにわたり始終至誠を尽くして職務に精励され、郵政事業の発展に多大な貢献をされました。特に金沢中央郵便局長として在任中、二酸化炭素排出量削減目標を設定した計画を策定・推進し、金沢市から温室効果ガスの排出削減に積極的に取り組む企業として認定を受けるなど、局長・社員が一丸となって取り組まれ、その功績により平成15年度には、環境大賞総裁賞を受賞されました。
	(64歳)	鳥取県	(元)鳥取本町郵便局長 (元)全国郵便局長会 会長	·総務大臣表彰 (事業優績) H18 他10件	【事業業績】 昭和44年12月立川郵便局郵便課に採用され、平成26年3月鳥取本町郵便局長として退職されるまで44年余もの長きにわたり、豊かな見識と卓越した指導力をもって、郵政事業の発展に多大な貢献をされました。特に因幡特定郵便局長業務推進連絡会会長に就任後は、鳥取県内の郵便局長の防災士資格取得を推進し、積極的な防災活動の普及に努め、また中山間集落の見守り活動の一環として、高齢者の安否確認を行う等、地域とともに歩む郵便局づくりに努められました。 さらに平成24年5月から全国郵便局長会会長となり、持ち前の旺盛な責任感と卓越した指導力、統率力をもって、全国の各郵便局の円滑な業務運行の推進に尽力されました。
	きいとう はる か ご 齋藤 晴比古 (66歳)	徳島県	徳島逓信病院長	·日本郵政公社総裁表彰 〔事業優績〕 H19 他8件	【文化振興】 平成8年4月に徳島逓信病院長に就任され、郵政職員とその家族の診療及び健康管理に貢献し、もって郵政事業の発展に寄与されました。 平成13年のボランティア国際年に際し、「健康講座Q&A」の冊子を執筆されたほか、「糖尿病予防ハンドブック」などを執筆・編集し、これらの冊子等は郵政関係職員に広く配布され、職員とその家族の健康増進に大きく寄与しました。 また、逓信病院院長としては、地域医療推進の観点から地域住民への講演会を行うなど、健康保持・増進に向けた啓発活動を積極的に展開しているほか、全国逓信医学会副会長として、長年にわたり逓信病院の運営や医療サービスの向上に寄与され、平成19年に日本郵政公社総裁表彰を受賞されました。

### 第60回前島密賞受賞者・功績概要

#### 前島密賞規程第2条関連(2/7)

推薦 機関	氏名(年齢)	住所	職歴等	表 彰 歴	功 績 概 要	備考
	*************************************	東京都	(元)日本電信電話(株) 常務取締役 (元)NTTコミュニケーションス*(株) 社長	•第52回電気通信協会賞 H23	【事業業績】 昭和40年4月に日本電信電話公社入社以来、日本電信電話㈱勤務を経て常務取締役を務められ、NTTコミュニケーションズ㈱の初代社長という要職を歴任し、豊富な知識と卓越した経営手腕を持って我が国の電気通信事業の発展に尽力されました。 特に、平成11年7月NTTコミュニケーションズ㈱代表取締役社長にあっては、「グローバルIPソリューションカンパニー」を会社の基本方針として、他の通信事業者に先駆けてインターネットの主要なグローバルプレーヤーになることを目指し、第一に人材育成や企業文化の刷新に努力され、コンシューマ向けサービスとして新サービス提供を開始し多様なニーズに貢献されたほか、IT各社との連携強化など、国際化の道を開く新しい事業体制の確立に貢献されました。	
日本電	富澤 特人 (48歳)	神奈川県	日本電信電話㈱ 未来ねっと研究所 主幹研究員	·情報通信技術賞 総務大臣表彰 (情報通信技術委員会) H25 他5件	【高速切り替え可能な100Gデジタルコヒーレント光ネットワーク技術の研究開発】 ブロードバンドや移動体通信の本格普及に伴い、情報通信網の基幹を担う光通信ネットワークへの更なる高速大容量化の期待に対し、光通信信号をアナログデジタル変換したのち信号処理により信号復元するデジタルコヒーレント技術の開発に貢献されました。本技術の開発により100Gbit/sの超高速光伝送が可能となり、その結果、国内外における光通信ネットワークの大容量化に貢献しました。  ②富澤氏は	
信電話(株	まなか で見 <b>尾中</b> 寛 (55歳)		富士通㈱ フォトニクスプロダクト開発センター 統括部長	·情報通信技術賞 総務大臣表彰 (情報通信技術委員会) H25 他2件	主信号に影響のない僅かな既知信号を用いて波形歪み量を高速に推定し、その推定値を基に数々の機能ブロック群を連携動作させて波形歪み補償を行う制御アルゴリズムを考案するなど、光リングプロテクションを実現する他にはない高速信号復旧機能を先駆けて確立することで高速デジタル信号処理回路(DPS)の国際競争力強化に貢献されました。  ②尾中氏は デジタルコヒーレント受信方式に必須の偏波処理技術に関し、実フィールド環境への適用を行う上で重要となる50psを超える偏波モード分散量の補償性能と50KHzを超える偏波変動速度への追随性能を両立させた方式の開発に世界に先駆けて成功し、さらに偏波処理回路の回路規模・消費電力を削減する手法を考	
	********		三菱電機(株) 先端技術総合研究所 副所長	·情報通信技術賞 総務大臣表彰 (情報通信技術委員会) H25 他2件	案されました。  ②水落氏は アナログデジタル変換で生成された多値信号を積極的に利用する「軟判定」技術をベースに、低密度パリティ検査符号を考案し、低いSNRにおけるビットエラーを有効に訂正する技術を開発されました。 さらに後段の硬判定符号との更なる連接符号を考案し、強力な誤り訂正能力を実現されました。  ③福知氏は	
	福知 清 (48歳)		日本電気(株) がリーンプラットフォーム研究所 研究部長	·情報通信技術賞 総務大臣表彰 (情報通信技術委員会) H25 他4件	「◎福知氏は 光ファイバの波長分散現象で信号が歪む問題に対して、CMOSチップに実装可能なデジタル信号処理で 正する技術を開発し、世界に先駆けて数万ps/nmレベルの波長分散補償の要素技術を確立されました。 これは開発当時の世界最高レベルの補償量であるとともに、現在運用されている多数の光ネットワーク 分散量をカバーするものである。	

推薦 機関	氏名(年齢)	住所	職歴等	表 彰 歴	功 績 概 要	構考
	うめだ なるみ 梅田 成視 (52歳)	神奈川県	(株)NTTドコモ 先進技術研究所長	·第25回電波功績賞 総務大臣賞 H26 他1件	【LTE対応の超小型基地局「Xiフェムトセル」の開発】 スマートフォンの普及などモバイル通信の大容量化および高速化への需要に対応するため、世界で初めて LTE/3G両方式の同時運用に対応した超小型基地局装置「Xiフェムトセル」を2012年12月に開発されました。 このXiフェムトセルの開発により、汎用ブロードバンド回線を活用し、且つプラグアンドプレイ機能によるLTE/3G セル設定パラメータの自動設定を実現することで、周波数利用効率に優れるLTE方式を屋内環境まで早期に展 開することが可能となりました。 このように、Xiフェムトセルの開発、実用化は、LTE方式による円滑で快適なモバイル通信環境の効率的かつ迅 速な展開を加速させ、2014年3月末にはLTE方式の人口カバー率が97.5%に到達、LTEサービス加入者数も2014 年度第1四半期時点で2,400万人を突破するなど、ネットワーク社会の進歩発展に大きく貢献されました。	
日士	河原 敏朗 (48歳)	神奈川県	㈱NTTドコモ 無線アクセス開発部 担当部長	·第25回電波功績賞 総務大臣賞 H26 他3件	また、LTE/3Gの両方式を単一の装置で対応することで、LTE/3Gそれぞれの方式に対応したフェムトセルを併設する場合よりも小型、軽量化、省エネ化を達成するとともに、LTEと3Gの統合制御によるネットワーク全体としては運用パラメータや移動制御の自律最適化を実現されました。  ◎梅田氏はこれまでの移動通信システム全般に渡る研究開発を主導した経験を踏まえ、モバイルネットワークの高度化においてはセルサイズの小型化や無線基地局の自律制御機能の実現が重要であることを提唱し、これらを具現化したXiフェムトセルのシステムデザイン、および従来のマクロセルを含めたモバイルネットワーク全体の高度化にはけたグランドデザインを策定するなど、Xiフェムトセルの開発、実用化を通じてネットワーク社会の進歩発展に貢献されました。	
本電信電話(株)	· 福家 裕 (43歳)		(株)NTTドコモ 無線アクセス開発部 担当課長	·第25回電波功績賞 総務大臣賞 H26	◎河原氏はこれまでの無線基地局装置開発の経験を踏まえ、3GからLTEへの早期マイグレーションにあたってはLTEだけでなく3Gでの音声通信もサポートする必要があることや、安定した快適な通信サービスを提供するためには、単一の装置でLTEと3Gの両方式を統合して制御を行う必要があることなど、Xiフェムトセルの装置仕様を主導して策定し、当時世界初となる3G/LTEデュアルフェムトセルの装置開発および実用化を通じて、ネットワーク社会の進歩発展に貢献されました。	
	** ** ** ******* 山田 武史 (40歳)	東京都	(株)NTTドコモ 無線アクセス開発部 主査	·第25回電波功績賞 総務大臣賞 H26	Xiフェムトセルの商用運用において必要となるLTEフェムトセルの技術的規格の早期策定に向け、国際標準化団体3GPPへ寄書を入力するなど精力的な活動を行い、LTEフェムトセルの国内無線設備規則の早期改定に貢献されました。また、Xiフェムトセルで利用可能な周波数資源を最大限有効に活用するために、XiフェムトセルのLTE収容上限に達した場合は、その後にLTE側で接続を試みたユーザを3G側へ移行させ接続させる機能を開発するなど、ネットワーク社会の進歩発展に貢献されました。  ◎山田氏はフェムトセルによる迅速なLTEエリア展開を実現するために、必須となる周辺の3G/LTEマクロセル等と親和・協調し、無線ネットワーク全体として最適となるようフェムトセルの運用パラメータを自律的に調整するプラグアンドプレ	
	まめや たかお <b>染谷 隆雄</b> (34歳)	神奈川県	㈱NTTドコモ R&D戦略部主査	·第25回電波功績賞 総務大臣賞 H26	ー イ機能を考案、実用化されました。 具体的には、フェムトセル周辺の3G/LTEマクロセルおよびフェムトセルからの送信信号レベルから、自フェムトセルの被干渉量を測定する機能、無線ネットワーク全体として最適となるようフェムトセルの運用パラメータを自律的に決定する機能、などを開発されました。 ◎染谷氏は ユーザ端末が無線ネットワーク全体の中からフェムトセルを効率的に検出し、迅速にフェムトセルへ在圏するための移動制御機能の考案、および方式設計を主導されました。 また、Xiフェムトセルのセル設定において3G側セルとLTE側セルの両方の電波環境を統合して制御することで、フェムトセル配下の3G/LTE移動を最適化するセルサイズ制御機能を考案、開発されました。	

# 第60回前島密賞受賞者・功績概要

推薦 機関	氏名(年齢)	住所	職歴等	表 彰 歴	功  績  概  要	備考
	*************************************	東京都	(元)番組制作局 ドラマ番組部長 (元)番組制作局 制作主幹	・第32回芸術祭大賞 「男たちの旅路 〜シルバー・シート〜」 S52 他5件	【文化振興】  昭和42年に日本放送協会に入局。主にドラマの演出家やプロデューサーとして活躍されました。 代表作のひとつが土曜ドラマ「男たちの旅路」シリーズです。自らの企画で、脚本家・山田太一とともに、元 特攻隊の警備員である主人公と若者たちの世代間ギャップや現代の社会問題をシャープに描きだしました。全4シリーズ13話が放送され、第3部1話の「シルバーシート」は第32回芸術祭大賞を受賞されました。その他にも連続テレビ小説や大河ドラマなど多数の著名なテレビドラマを制作され、若い俳優たちを抜擢して今日のテレビドラマの世界を築き上げられました。その後、ドラマ番組部長、制作主幹等を歴任。退職後はNHK学園理事長として、放送文化のさらなる向上に多大な貢献をされました。	
日本放	西田 幸博 (54歳)	東京都	放送技術研究所 テレビ方式研究部 上級研究員	• 日本ITU協会賞功績賞 (功績賞) H23	【超高精細度テレビジョン用広色域表色系の開発と標準化】 受賞者らは、8Kスーパーハイビジョンに代表される超高精細度テレビジョン(UHDTV)の開発に際して、実物に近い色再現によって質感の向上を図ることができる広色域表色系の開発・標準化に貢献されました。広色域表色系の開発においては、対象とする色域や表現方法などの条件を検討し、HDTVやデジタルシネマ等既存の主要な映像システムの色域を包含すると共に、実在するほぼ全ての物体の色を表現できること等の要求条件を満足する表色系として、スペクトル軌跡上の単波長光源に相当する色度点を三原色とする広色域表色系を設計されました。そしてこの広色域表色系を採用したUHDTV映像方式やUHDTV放送方式の標準化を達成されました。さらに、広色域表色系に準拠した8Kスーパーハイビジョン用カメラやディスプレイ等の機器を開発されました。これらの成果は、映像表現の可能性を拡大するものであり、放送技術の進歩発展に貢献された功績はまことに顕著であります。	-
送協会	まさおか けんいちろう 正岡 顕一郎 (43歳)	神奈川県	放送技術研究所 テレビ方式研究部 主任研究員	•The ABU Technical Review Prize 2013-2014 (最優秀論文賞) H26	<ul> <li>◎西田氏は 超高精細度テレビジョン用広色域表色系開発標準化の責任者として、要求条件の設定から広色域表色系の設計、カメラやディスプレイ等の機器開発に至る研究を統括されました。またITU-Rでの国際標準化においては、提案文書のとりまとめやSG6副議長としてUHDTV映像方式の勧告作成に寄与されました。さらに、広色域表色系を採用したUHDTV衛星放送方式の策定にも主導的に貢献されました。</li> <li>◎正岡氏は広色域表色系の設計において、色域包含率の計算に基づき新たなRGB三原色色度を提案されました。また機器開発においては、広色域表色系用に設計したプリズムを8Kスーパーハイビジョンカメラに実装し、広色域スーパーハイビジョン映像の制作を実現されました。そして広色域表色系の効果を国内外で実証し世</li> </ul>	
	まがわら まさゆき 菅原 正幸 (56歳)	東京都	放送技術研究所 副所長	·東京都功労者表彰 (技術振興功労者) H25 他3件	界中から広色域表色系の理解を得るなどの成果を達成されました。  ◎菅原氏は 超高精細度テレビジョン方式開発標準化の責任者として、超高精細度テレビジョンの各種映像パラメータの導出とシステム設計、標準化を統括されました。特にITU−R SG6において、2008年にUHDTVを研究課題とすることを提案され、その後の研究活動をラポータグループ議長として主導し、2012年にUHDTVシステムパラメータ勧告BT.2020の成立に導かれました。	

# 第60回前島密賞受賞者・功績概要

推薦 機関	氏名(年齢)	住所	職歴等	表 彰 歴	功  績  概  要	備考
	版内 浩規 (54歳)	埼玉県	KDDI(株) メディア・CATV推進本部 メディアプロダクト技術部 部長	·情報処理学会 (全国大会優秀賞) H12 他2件	【ケーブルテレビにおいては、放送と通信を連携した次世代のサービスを実現するために、ケーブルのRF加えIPをサポートするハイブリッドな放送受信端末(STB)の実現が急務となっていました。これに応えて、ケーブルテレビやIPTVに対応した Android OS搭載のSTBを開発されました。とりわけ、Androidをブラットフォームで採用したことにより、スマートフォンやタブレットと映像サービスのランツやアブリの水平展開・連携を可能とされました。本開発をベースに、国内外の標準化への貢献や、実用化による全国ケーブルテレビ局への導入を実現れました。  「堀内氏は Androidの組込み機器適用の一環として、2008年にSTBへの適用を企画し、2010年にAndroid OS搭載Sの試作機開発を主導し完成されました。さらに、試作機の成果をベースにケーブルテレビ事業者向け次代STB商用機の開発体制を構築し、2012年に商用化を行われました。  「御原氏は STBにAndroid OSを搭載することで、それまで固定的であったSTB上の機能をアプリダウンロードにより単に追加できるのではとの仮説を立て、次世代STBやアプリケーションボータビリティの技術開発を推進実証をされました。  「中田氏はケーブルテレビ事業者の立場で次世代型ハイブリッドBox技術仕様の標準化に従事され、次世代STBを推進実証をされました。  「中田氏はケーブルテレビ事業者の立場で次世代型ハイブリッドBox技術仕様の標準化に従事され、次世代STBを加めサービス提供事業者として、タブレットでのマルチスクリーン機能を含め、放送と通信が一体なった新たなサービス化を行い、普及、推進に貢献されました。  「学国氏は KDDIにおける次世代STBの商用機の設計・開発グループのリーダとして、2012年12月のJCNでの商用を実現されたほか、商用化後の継続的な機能改善を行い、次世代STBの採用局の拡大と各採用局による加入者数の増加に貢献されました。	
(一 社 )	柳原 広昌	埼玉県	㈱KDDI研究所 執行役員	・映像情報メディア学会 コンシューマエレクトロニクス研究会 (研究奨励賞) H15 他1件		
電気通信事業	でいるた。 かきら 平田 晃 (45歳)	東京都	(株)ジュピターテレコム プラットフォーム企画部 部長	無し		
業者協会	まかだ。たべや 澤田 拓也 (45歳)	東京都	KDDI(株) メディア・CATV推進本部 メディアプロダクト技術部 商品開発G グループリーダ	無し		
	たみず ともゆき <b>清水 智行</b> (39歳)	東京都	㈱KDDI研究所 メディア開発グループ 開発主査	・映像情報メディア学会 第39回 年次大会 鈴木記念奨励賞 H17 他2件	◎清水氏は 番組情報の取得やチューナ制御等の放送機能をアプリケーション側から利用可能とするためのAPIの設計・開発を行い、スマートフォンやタブレット向けのアプリケーションの開発者が放送機能と連携した新しいアプリケーションを容易に開発することを可能とされました。	

#### 前島密賞規程第2条関連(6/7)

推薦 機関	氏名(年齢)	住所	職歴等	表 彰 歴	功 績 概 要	備考
(一財)日本ITU協	っがゎ せいいち 津川 清一 (64歳)		(元)KDDI㈱ ッ・ュネープ駐在員事務所 所長 ITU電気通信標準化部門 第3研究委員会 議長	·総務大臣賞 H25 他1件	【文化振興】 国際電気通信連合(ITU)電気通信標準化部門(ITU-T)における料金及び計算原則に関する第3研究委員会(SG3)に長年にわたり関わり、勧告策定等に中心的な役割を果たし、我が国による貢献度向上に尽力されてきました。 平成24年には同研究委員会の作業部会議長として、国際移動体通信のローミングに関する初めてのものとなる勧告に関し、各国間の調整において困難極まる議論の集約を成し遂げられました。 この新勧告は、国際移動体ローミングに関し、料金値下げのために事業者が取り組むべき事項や消費者利益のための規制手段を提案する勧告であり、こうした功績が認められ同研究委員会の議長に就任されるなど、津川氏は国際的な標準化活動への長年の多大な貢献と、標準化活動の功績を通じた国際社会の文化振興に寄与されてきました。	
(一社)日本民間放送	新葉 悠 (67歳)		(元)㈱TBSテレビ 執行役員 (一社) 地上放送RMP管理センター 代表理事	無し	【事業業績】 地上テレビ放送のデジタル移行に向けて、「全国地上デジタル放送推進協議会」の「総合推進部会」部会長として、オールジャパンの推進体制の中核を担われました。デジタル中継局の整備によるカバーエリアの拡大、総務省テレビ受信者支援センターによる周知活動強化、経済的弱者への受信機器購入支援、高齢者等への丁寧な周知など、アナログ放送終了にあたり大きな社会的混乱が生じないよう、きめの細かな施策を打ち出し、関係者との綿密な連携によりその実現に尽力されました。また、(社)日本民間放送連盟においても、「地上デジタル放送特別委員会」の中心メンバーとして、民放事業者の取り組みの企画立案と遂行のために奔走し、全国のアナログ終了・デジタル完全移行の円滑な実現に貢献されました。	
サービス協会	しま のりま <b>志岐 紀夫</b> (71歳)	東京都	(元)三菱電機 インフォメーションシステムス <sup>*</sup> (株) 社長 (元)VoIP推進協議会 会長	・テレコムサービス協会 功労者表彰 H23	【事業業績】 (社)テレコムサービス協会VoIP推進協議会会長として、5年にわたり協議会活動を統括されIP電話の品質、相互接続、番号、制度といった諸課題への対応について尽力され、また事業者に向けた施策(IP電話に係るネットワーク相互接続ガイドラインの策定など)や利用者に向けた施策(IP電話利用手引書の公表など)の取りまとめを積極的に進め、業界全体の健全な発展に寄与されました。さらに、三菱電機情報ネットワーク㈱在籍時には、データセンター運用並びにネットワークやプラットフォーム監視の品質向上に注力されました。	

推薦 機関	氏名(年齢)	住所	職歴等	表 彰 歴	功  績  概  要	備考
	うえまっ ひろひに 植松 洋彦 (52歳)	茨城県	宇宙航空研究開発機構 有人宇宙ミッション本部 宇宙船技術センター 技術領域リーダ	·電波功績賞 総務大臣表彰 (団体) H23 他2件	【宇宙ステーション補給機「こうのとり」通信システムの開発・実用化】 世界15カ国が参加している国際宇宙ステーション(ISS)への補給機「こうのとり(HTV)」は、日本が開発した無人の補給機です。無人でのドッキングには、日本が世界で初めて開発した「ランデブーキャプチャ方式」が使われています。 この方式は、他の国が採用してきたドッキング方式に比べて安全性・輸送能力において優位性があります	
	*************************************	茨城県	宇宙航空研究開発機構有人宇宙ミッション本部宇宙船技術センター	・電波功績賞 総務大臣表彰 (団体) H23	が、技術的な難しさから他国では開発できなかったものです。 この「ランデブーキャプチャ方式」において核となっているのは、格段に高い品質を持ち過酷な宇宙環境の 下でも安定的に作動する通信システムですが、この開発を見事に達成され、その結果、この方式は今日で は世界標準となり米国でも採用されるに至っています。	
一	(40成)		主任開発員	他2件	●植松氏は ランデブーキャプチャ方式の開発にあたり、「こうのとり」が高精度かつ安全にISSへ接近を行う航法誘導制御系の開発を行われたほか、ISS側での近傍通信システムの開発・実用化を達成されました。  ②・西氏は ISS側での近傍通信システムの開発、ランデブー航法用GPS受信機システムの開発等を行い、距離および距離変化率計測能力をトランスポンダ装置に組み込んだ先進的システムの実現等に貢献されました。  ③藤村氏は 「こうのとり」通信システムの開発において、送受信部の変復調方式の開発を担当し、地上の無線通信機器開発で培った独自デジタル復調方式を応用して、遠距離通信用と近距離・超近距離通信用を共通のアルゴリズムで実現することを可能とされました。  ③江島氏は 「こうのとり」通信システムの開発において、マイクロ波帯の送受信部およびデジタル変復調部の開発を行うなど、高信頼性かつ小型、軽量な送受信機器(トランスポンダ)の実現に貢献されました。  ④深川氏は 近傍通信システムと「こうのとり」通信システムの通信・データ処理を厳格なISSの有人安全性要求に適合させる仕組みを開発され、これらの業績により近傍通信システム、「こうのとり」通信システムの主にベースバンド部の実現が可能となりました。	
II .—	藤村 明憲	神奈川県	三菱電機㈱ 鎌倉製作所 ミッション技術部 技術第三課 専任	·電波功績賞 総務大臣表彰 (団体) H23 他3件		
業	えじま ふたば 江島 二葉 (44歳)		三菱電機㈱ 鎌倉製作所 ミッション技術部 技術第三課 専任	·電波功績賞 総務大臣表彰 (団体) H23		
	*************************************	神奈川県	三菱電機㈱ 鎌倉製作所 宇宙技術第一部 技術第二課 専任	·電波功績賞 総務大臣表彰 (団体) H23		
<u> </u>					【事業業績】	
テレビ連盟 ブル	がわれた。 ひろん 河村 浩 (67歳)	東京都	イッツ・ コミュニケーションズ(株) 代表取締役会長	・(一社) 日本ケーブルテレビ連盟 ケーブルテレビ功労者表彰 H25	昭和58年に東急電鉄のケーブルテレビ事業(現イッツ・コミュニケーションズ㈱)の起業に携わられて以来、現代表取締役会長に至るまで同社の要職を務めて社業の発展に寄与され、番組供給事業者等と協業しつつ、我が国に於けるいわゆる都市型ケーブルテレビ事業の普及に貢献されました。また平成14年には日本デジタル配信㈱の代表取締役社長に就任され、業界デジタル化への円滑な移行とデジタル化後の新サービス開発と提供に多大な功績を挙げた。この間、日本ケーブルテレビ連盟の著作権委員会、通信事業委員会やデジタル化委員会の委員長などを務められ、業界の事業基盤確立に努めると伴に、現在も平成22年より副理事長として業界が直面する課題の解決やブランドカ向上に功績を挙げておられます。	